

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公開番号】特開2011-22433(P2011-22433A)

【公開日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-005

【出願番号】特願2009-168437(P2009-168437)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月3日(2012.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

ワイヤ 1 0 4 の一端は、電極 1 2 2 - 1 に接続され、他端は、電極 1 2 2 - 2 (以下、個々に区別する必要がない場合、単に電極 1 2 2 と記述する) に接続される。この電極 1 2 2 は、レンズキャリ 1 0 1 が内包されるケース 1 3 1 に設けられている。また、電極 1 2 2 は、レンズキャリ 1 0 1 とケース 1 3 1 の隙間に設けられる。このような電極 1 2 2 を納める隙間が確保できるのも、図 4 に示したように、レンズキャリ 1 0 1 に切り欠き部 1 0 2 を設けたからである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 9】

図 1 2 は、レンズキャリ 3 5 1 を含み、レンズを駆動する駆動装置の構成を示す図であり、図 1 2 は、レンズキャリ 3 5 1 を上側および側面から見たときの図である。レンズキャリ 3 5 1 の内側にはレンズバレル 3 5 6 が固定されている。レンズバレル 3 5 6 は、複数枚のレンズ(不図示)を保持する。レンズキャリ 3 5 1 の外側の所定の位置には、スライドフック 3 5 3 - 1 とスライドフック 3 5 3 - 2 が設けられている。そのスライドフック 3 5 3 - 1 とスライドフック 3 5 3 - 2 は、レンズキャリ 3 5 1 を間に挟み、対向する位置にそれぞれ設けられている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 3】

軸 3 5 4 - 1 , 3 5 4 - 2 は、ケース 3 5 7 内の 2 隅にそれぞれ配置されている。また、圧電素子 3 5 5 は、ケース 3 5 7 内の 1 隅に設けられている。軸 3 5 4 (圧電素子 3 5 5) は、レンズキャリ 3 5 1 の外側の側面に設けられている切り欠き部 3 5 2 に、その一部または全てが収納されるように配置されている。すなわち、軸 3 5 4 - 1 と圧電素子 3

5 5の一部または全ては、レンズキャリ 3 5 1 の切り欠き部 3 5 2 - 1 に収納されるように構成されている。軸 3 5 4 - 2 の一部または全ては、レンズキャリ 3 5 1 の切り欠き部 3 5 2 - 2 に収納されるように構成されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 7】

図 1 2 に示した外側の四角形の点線 3 8 1 は、従来の駆動装置の大きさを示している。図 1 2 に示したように、本発明を適用することで、従来の駆動装置よりも小型化できることがわかる。また、このように駆動装置の小型化を実現しても、駆動装置で駆動されるレンズの口径などを小さくしたり、駆動装置を含む撮像装置に用いられる撮像素子を、画素数の少ない撮像素子を用いなくてならなくなったりするといったことがないので、画質を劣化させることなく、小型化を実現することが可能となる。